

新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

【はじめに】

大会の開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する政府の措置、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大防止ガイドライン」（スポーツ庁作成）、『新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン』（日本バドミントン協会作成）、ならびに大会会場より求められる措置に従うことが前提となります。

【感染の拡大防止のポイント】

1. 有症状者（発熱・咽頭痛・鼻汁・咳・頭痛・倦怠感・呼吸困難・嗅覚異常・味覚異常）が参加しないこと
 2. 仮に感染者が体育館に入館していた場合でも、他の者が感染しないこと。
- 会場内では出場選手・運営スタッフ・観客すべての参加者が、濃厚接触に該当することがないように感染対策を遵守してください。三密の回避、手指衛生、マスク着用を徹底してください。

【本大会出場 までの留意事項】

1. 大会出場にあたり 1 週間前から本大会前日までの健康チェックを行うこと。
2. 大会1週間前から前日にかけて、体調不良や何らかの症状が出現した場合は、通常の活動を中止し、自宅療養を開始してください。開催地への移動は行わないでください。
3. 感染者・濃厚接触者・感染疑い者の出場可否については本ガイドラインを参照してください。判断に迷う場合は、主管の関東学生バドミントン連盟に問い合わせてください。

【選手の出場に関して】

新型コロナウイルス感染症感染者・濃厚接触者・感染疑い者（体調不良者）の大会参加に係る日数要件の基本的な考え方を以下に示します。

1. 感染者への対応

- ・ 発症日（症状が出現した日）から、7日間以上かつ症状軽快後24時間経過後であれば出場可能
- ・ 症状が軽快後、24時間以上空けて2回のPCR検査が陰性であった場合は出場可能
- ・ 無症状の感染者については、検体採取日（陽性確定に係る検体採取日）から 7 日間経過した場合は出場可能
- ・ 当初無症状の人であっても、途中で症状が出現した場合は、発症日を起算日として 7日間以上経過後は、出場参加

- ・無症状の感染者で、検体採取後から5日間経過した時点で、抗原検査で陰性が確認できた場合は、6日目より出場可能となる

- ・感染後に症状がある方は10日間、無症状の方は7日間、感染リスクが残存することから、自身による検温、高齢者等重症化リスクのある方との接触や感染リスクの高い行動を控えていただく等、自主的な感染予防行動の徹底をお願いします。

2. 濃厚接触者への対応

- ・発端となる同居の感染している者が発症する等してから 5 日間経過している場合は大会参加を認める。

- ・ただし、2 日目と 3 日目に抗原定性検査キットを用いた検査で陰性が確認できた場合は、3 日目で大会参加を認める。(いずれの場合も7日間が経過するまでは、自身の健康状態の確認を続けること、基本的な感染対策を徹底すること)

3. 感染疑い者への対応

- ・感染が疑われる症状の発症後に少なくとも 8 日が経過している場合は出場可能

- ・感染疑い者とは、体調不良〔例：発熱、咳、咽頭痛、倦怠感、頭痛、味覚嗅覚異常など〕の症状があり、PCR 検査もしくは抗原検査で陰性であった者、医療機関を受診しなかった者を指す

4. その他、判断に迷うケースに関して

- ・会場救護責任者もしくは本連盟医事部門スタッフ(医療関係者)の助言をもとに、感染対策責任者および競技運営責任者によって最終決定する。

※ は大会参加不可

感染者

■症状がある場合

2日前	1日前	0日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日
—	—	発症日	(陽性)						症状軽快後 24時間以上	大会参加 可能

2日前	1日前	0日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	
—	—	発症日	(陽性)		症状軽快後	24時間以上	PCR検査① 陰性	24時間以上	PCR検査② 陰性	症状軽快後、24時間以上空けて 2回のPCR検査陰性 →参加可能

■症状がない場合

2日前	1日前	0日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日
—	—	検体採取	(陽性)							大会参加 可能

2日前	1日前	0日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日
—	—	検体採取	(陽性)		発症日					大会参加 可能

2日前	1日前	0日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	
—	—	検体採取	(陽性)				抗原検査 陰性	大会参加 可能	5日目に抗原検査が陰性 →6日目より参加可能

濃厚接触者

2日前	1日前	0日	1日	2日	3日	4日	5日	6日
—	—	発端者の 発症						大会参加 可能

2日前	1日前	0日	1日	2日	3日	
—	—	発端者の 発症		抗原定性 検査① 陰性	抗原定性 検査② 陰性	3日目より大会参加可能

感染疑い者

2日前	1日前	0日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日
—	—	発症日							症状軽快後 24時間以上	大会参加 可能

【本大会当日の留意事項】

- ・当日の朝、関係者（選手・チームスタッフ・運営スタッフ）は各自で必ず検温を実施してください。その上で入館時に非接触型体温計にて検温を実施する予定です。当日37.5℃以上ある場合、入場できません。ただし、会場独自により厳しい基準を設けている場合、その基準を優先します。
- ・プレー中の選手を除いて常時、不織布マスクを着用してください。水分補給につとめ、熱中症には十分注意してください。
- ・体育館入館時にアルコール消毒を行ってください。アルコール消毒液は大会本部で用意しますが、アルコールアレルギーのある方は各自ご用意ください。
- ・参加チームでも消毒液を用意し、待機席で手指衛生に努めてください。
- ・大会会場における入場者数の制限に従います。大会関係者（選手、チームスタッフ、運営スタッフ）以外の入場が認められない場合や観客の入場数制限を行う場合があります。
- ・各チームの代表者は入館時、あるいは入館後（各会場の指示に従う）に本大会出場のために必要となる書類一式を提出してください。
- ・動線、更衣室、食事・休憩・待機スペース・応援スペースについては、各会場の指示を厳守してください。
- ・飲食については会場のルールに従ってください。ただし、感染拡大のリスクのきわめて高い場面であることから、フィジカルディスタンスを保ち、他者と会話をせずに済ませてください。
- ・共用する物品や座席のアルコール消毒にご協力ください。

【アリーナ及び競技関係用具類に関わる留意事項】

- ・アリーナの出入り口は換気のために開放することがあります。
- ・アリーナの出入り口に消毒液を配置し、入退場する際は手指にアルコール消毒を行ってください（アルコールアレルギーがある方は、持参の消毒液で消毒をお願いします）。
- ・コートサイドには、選手が使用するカゴを設置しません。各自バッグを持参し、飲み物もバッグに収納してください。
- ・コートのモップの柄はあらかじめアルコール消毒しておきますが、モップを掛けた後はコートに設置されたアルコール消毒液で手指消毒を行ってください。

【競技関係者及び競技中の確認事項】

- ・プレー中の選手以外は、必ずマスクを着用してください。
- ・選手同士や審判員との握手は行わないでください。
- ・試合前後はラケットによるソフトタッチを握手の代替として推奨します。
- ・シャトルの交換は、シャトルをコートサイドに重ねて置いておくので、交換時は上から取るようにしてください。適宜担当者がシャトルを補充します。使用後のシャトルは未使用のシャトルの隣もしくは設置されたケースの中に入れてください。

- ・プレーヤー同士やコーチとハイタッチ等の接触を行わないようにしてください。
- ・プレーヤーはゲーム中に大きな声を出さないようにしてください。
- ・大きな声を出しての応援は認められません。
- ・コーチングは一定の距離を保ち、必要最小限に短時間で行ってください。
- ・試合後は審判員が必ずモップをかけてください。共用物品の消毒を行ってください。

【大会役員・審判・その他の運営スタッフについて】

- ・新型コロナウイルス感染症が重症化しやすい基礎疾患を持っている者が運営に従事する場合は、そのリスクを十分考慮し運営にあたってください。
- ・重症化しやすい基礎疾患として、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、心血管疾患、肥満、喫煙が挙げられます。
- ・競技運営に必要となる人員が十分に確保される場合は、可能な限り運営に係ることを回避してください。
- ・競技運営に支障が生じる場合を除き、マスクを着用してください。
- ・手指衛生に努めた上、共用物品の使用は可能な限り控え、共用物品については可能な限り消毒を行ってください。

【観覧者について】

- ・開催地の大会会場の規則に準じて、入場者数を設定します。入場制限を行う場合があります。
- ・来場当日も含め、過去7日間以内に体調不良がある場合は入場できません。
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる場合は入場できません。
- ・入場時の体温測定にご協力ください
- ・会場内ではマスク(不織布マスクを推奨)を着用してください。
- ・大きな声を出しての応援は禁止です。
- ・感染対策のために、会場内で座席や移動通路を制限している場合があります。会場の規則に従ってください。

【医療体制に配慮した競技大会の開催に向けて】

新型コロナウイルス感染症の流行により医療体制の逼迫が懸念されています。大会開催地の医療体制に負担をかけないように配慮が必要です。

- ・緊急性が高い場合を除き、救急車の利用や救急医療機関の受診を控えてください。
- ・医療機関受診が必要な場合は、平日日中の受診を検討してください。
- ・受診に悩む場合は、大会救護スタッフもしくは救急安心センター(#7119)に相談してください。
- ・大会救護スタッフや運営スタッフが支援を行いますが、原則として所属チームで応急処置とその後の対応を行ってください。

・避けることのできる疾患を予防してください（熱中症、急性アルコール中毒など）

【その他の留意事項】

大会関係者から感染者が発生した場合に備え、必要書類を提出していただきます。個人情報の取扱いには十分注意し、感染対策上必要な場合を除いて使用することはありません。

本件についてのお問い合わせは、関東学生バドミントン連盟 kantoibf.madoguti@gmail.com までお願いします。